

個人投資家様向け説明会

2015年2月6日



Money Partners Group

株式会社マネーパートナーズグループ

証券コード：8732



- I. FX取引とは
- II. マネーパートナーズグループのご紹介
- III. 当社グループの収益構造、特徴と強み
- IV. 業績の推移
- V. 経営戦略
- VI. 当社の経営目標及び株主還元について

参考資料

I . FX取引とは

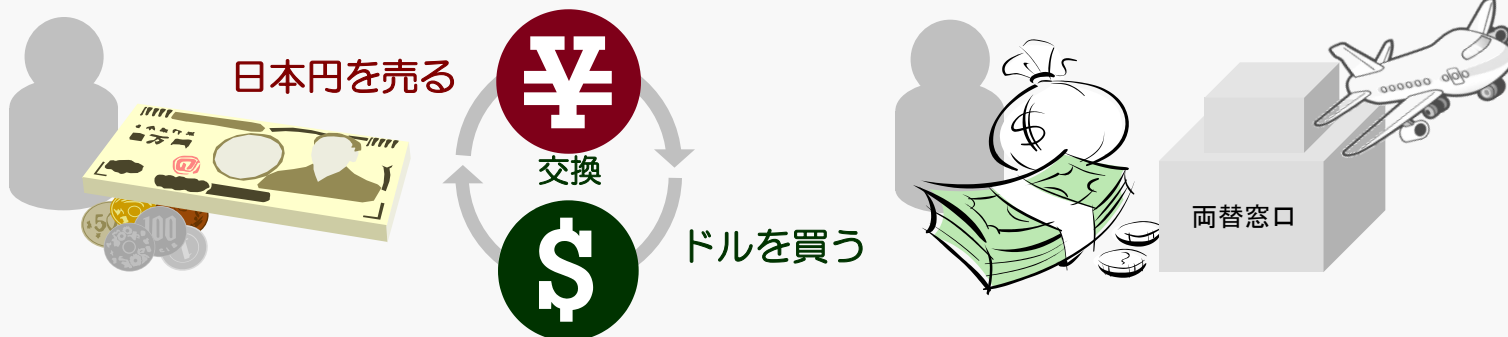




FX取引とは①

Money Partners Group

◆ FXとは「外国為替取引」のこと



空港などの両替窓口で手持ちの「円」を「ドル」に交換することは「円を売って、ドルを買う」ことになります。

<1万円分の取引をした場合>

為替レート



1万円

1ドル=100円のとときに
ドルに交換すると



100ドル

+1,000円
の利益!



1万1,000円

1ドル=110円のとときに
円に戻すと

このように円を外貨に交換し海外で買い物をしたり、為替レートに沿ってお金を売買して利益を出すこともできます。

※当スライドは簡略化して作成しておりますので、参考資料(スライドNO.38)も併せてご覧ください。

FX取引は証拠金を差し入れることで交換した外貨を資金の受渡しを保留した状態でそのまま持つこともでき、反対売買を行うことで売り買いの差益を得ることもできます。

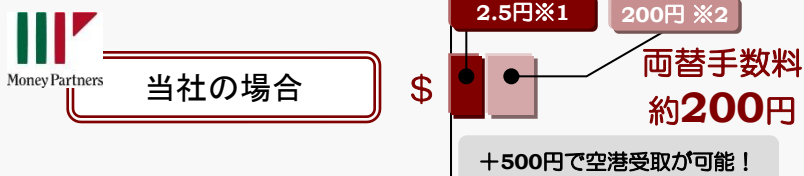
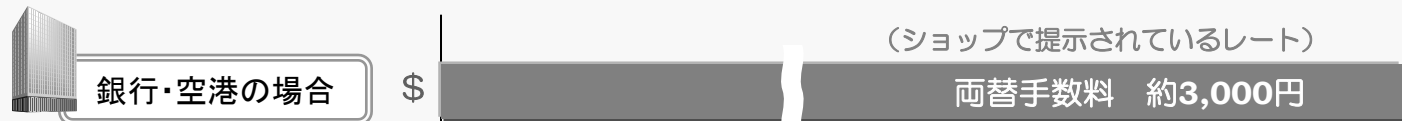


FX取引とは②

Money Partners Group

◆ 外貨の両替・受取はFXを利用した方が断然お得！

＜10万円を交換した場合の両替手数料比較＞ 米ドル/円レートが100円の場合



約93% OFF

※1 当社スプレッド÷2 (当社通常時スプレッド米ドル/円0.5pipsの場合)
 ※2 パートナースFXリアルタイムレートに20pips上乗分

マネパの外貨受取3つのポイント

- POINT 1 インターネットで事前申込！カンタン便利な外貨両替！
- POINT 2 海外旅行の主要な玄関口 成田・羽田・関空・セントレア のどこからでも受取可能！
- POINT 3 当日は現金不要！受取専用カウンターでスピーディな受取！

◆ FXはレバレッジが使える！レバレッジとは「てこ」のことで、少ない資金で大きなお金を動かします。

例えば、FXで100万円の取引を行うためには10万円（レバレッジ10倍の場合）の資金（証拠金）で済みますが、外貨預金等の現物取引では100万円の取引をするには100万円の資金が必要です。





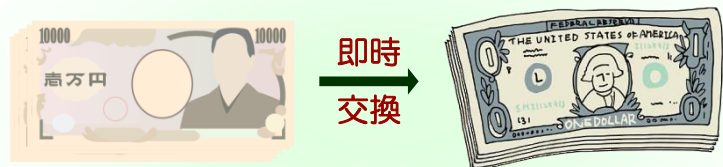
FX取引とは③

Money Partners Group

◆ 外貨預金とFXの違いは？ 基本的な仕組みは同じ！

1ドル=100円のととき1万ドルを購入する場合

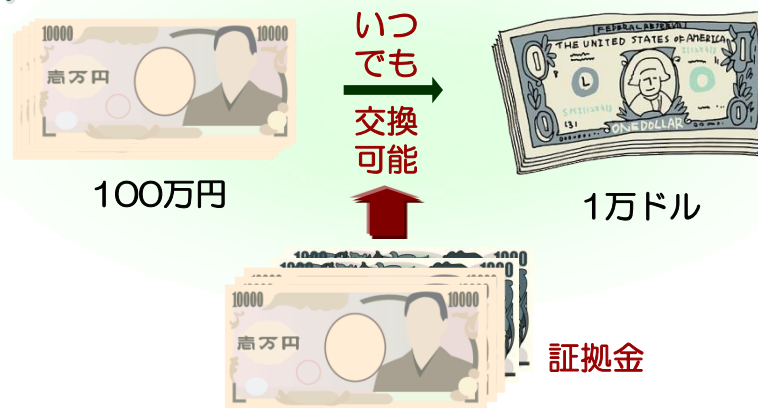
外貨預金では1万ドルを100万円で買う（1万ドルの預金を行う）際には、1万ドルを即時受け取る代わりに、100万円を即時支払う必要があります。



100万円

1万ドル

FXでは1万ドルを100万円で買う場合に、4万2千円※の担保（証拠金）を差し入れるだけでよく、代金の受渡しはお客様の希望があるまで無期限に繰り延べることができます。



100万円

1万ドル

証拠金

※証拠金は外国為替レートにより変動します。

為替差益を狙っての反対売買（1万ドルの売り）を行う場合、FXは売値と買値の差（スプレッド）が小さいため外貨預金と比べ極めて小さいコストで行うことができます！

◆ 従来の投資商品である株式や債券などとは異なる特徴を持つ

24時間取引可能

高い資金効率

多様な収益機会

外貨での受取可能

充実のセーフティネット

割安な取引コスト

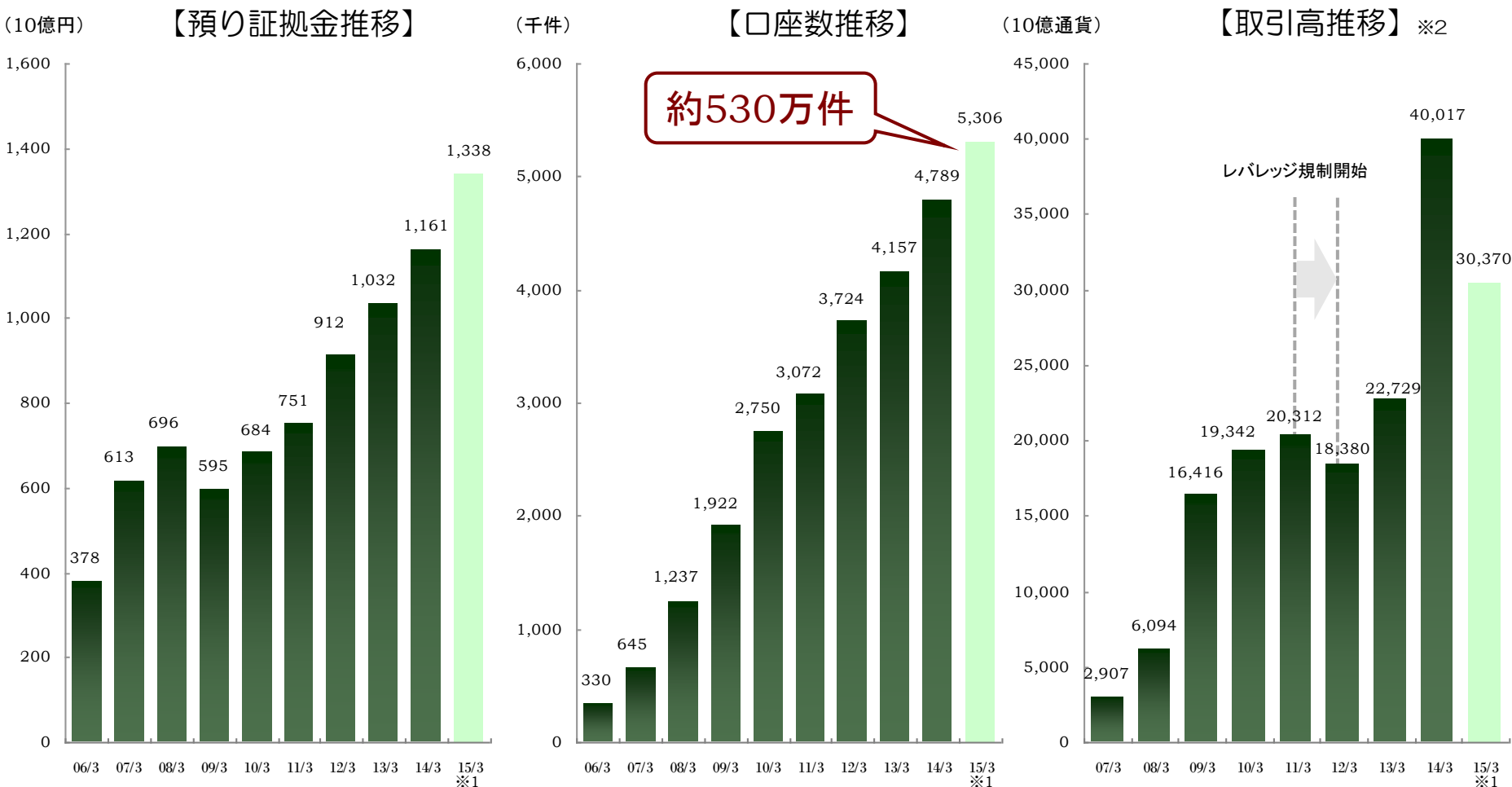
スワップポイント
(金利差)

多彩な通貨ペア



外国為替証拠金取引（FX取引）市場について

取引高についてはレバレッジ規制により減少する局面はあったものの、
金融商品としての認知度の向上等によりFX市場は順調に拡大



矢野経済研究所「FX(外国為替証拠金取引)の動向調査結果 2014」より当社作成

(※1) 矢野経済研究所「FX(外国為替証拠金取引)の動向調査結果 2014」より当社作成のため、15年3月期の数値は実数ではありません。

(※2) 対象は店頭取引のみ。10年3月期以降の取引高推移は金融先物取引業協会の統計情報から作成。

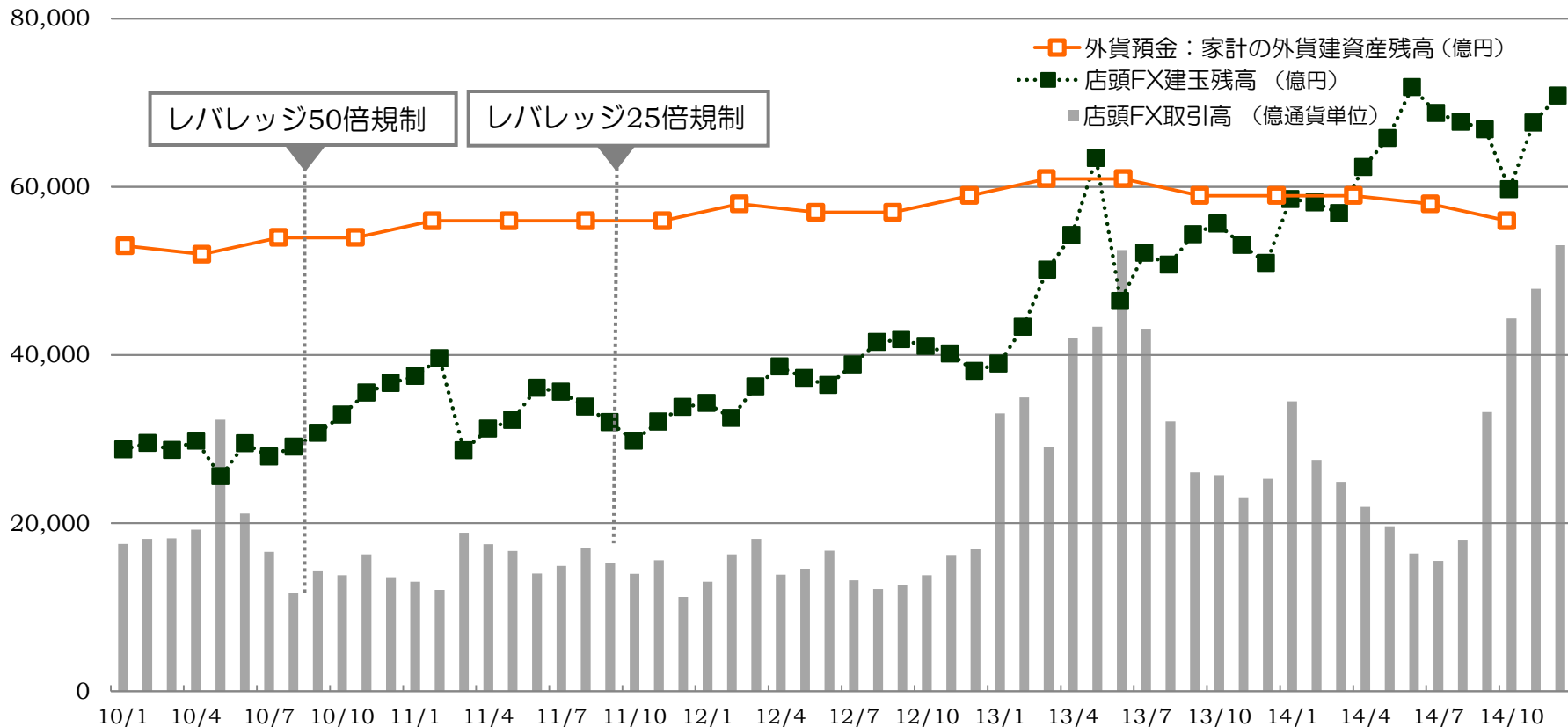


FX市場について

Money Partners Group

■ 店頭FX建玉残高（※）及び店頭FX取引高の推移 ※買建玉と売建玉の合計（投資残高に相当）

（億円／億通貨単位）



※日本銀行統計時系列統計データ及び金先協会統計資料より当社作成

取引高（フロー）は外国為替市場の影響を受け増減するものの、
建玉残高（ストック）は堅調な成長により外貨預金残高（家計部門）を上回る。



市場環境と事業の動向

Money Partners Group

■ 米ドル/円相場の推移



外為市場では2012年の政権交代を機に2007年夏以来の円高トレンドが終焉し円安トレンドに転換



外国為替証拠金取引（FX取引）の可能性

パスポート（一般旅券）発行数
（2013年1月～12月累計）

329万件

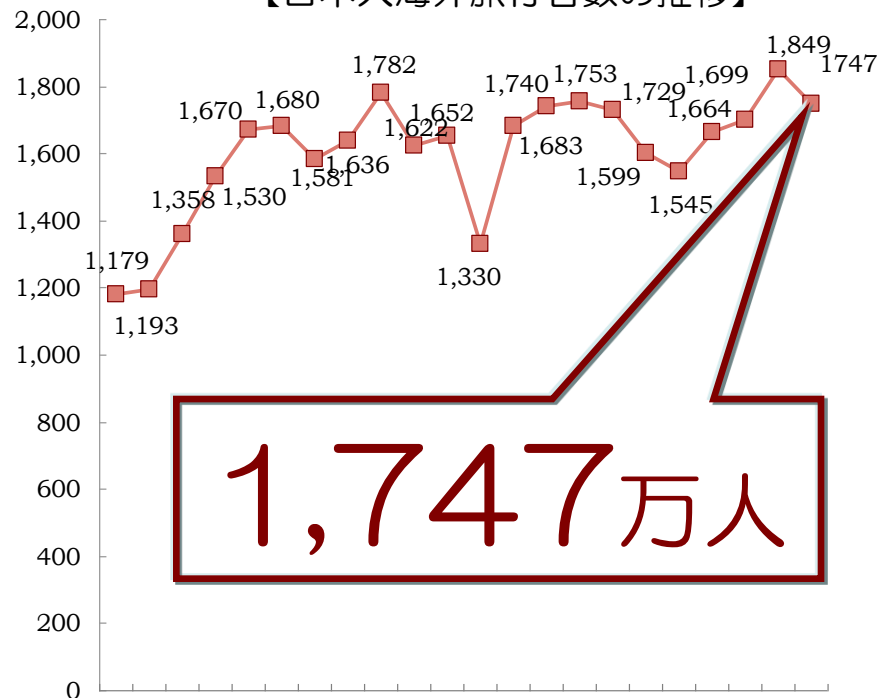
パスポート有効旅券数
（2013年12月31日現在）

5年旅券 756万人分
10年旅券 2,323万人分

計 3,080万人分

※外務省「旅券統計（平成25年1月～12月）」より当社作成

【日本人海外旅行者数の推移】



92 93 94 95 96 97 98 99 00 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13

※平成25年版観光白書より当社作成



FX取引の潜在顧客となりうるユーザーは、約3,000万人以上
FXの透明化・一般化が進めば、FX市場の成長も加速



投資商品としての優位性

Money Partners Group

【税制優遇】

平成23年度税制改正法案（うちFXに関連する部分）

「申告分離課税の適用（一律20%）」 「繰越損失控除が3年間可能に」
2012年1月決済分より適用



金融商品としてのメリットUP

より一層の整備が図られるFXマーケット

【投資家保護】

レバレッジ規制

最大25倍まで可能！



ロスカット
ガイドライン制定
損失を限定！



顧客預り資産
の信託義務
資産の安全性確保



透明化・健全化の更なる進展

Ⅱ. マネーパートナーズグループのご紹介





FX業界におけるパイオニア

- 1999年10月、FX取り扱い業務を開始した、日本におけるFX取引のパイオニア的存在
- 2005年6月、ネット企業のインキュベーションにより、FX専門会社として独立
（その後、2008年10月に持株会社体制へ移行。吸収分割により、全事業を新設会社である「マネーパートナーズ」に承継し、当社は「マネーパートナーズグループ」に商号変更）

FX専業業者で東証一部上場第1号

- 2007年6月、大阪証券取引所ニッポン・ニュー・マーケット「ヘラクレス」市場（※現東証JASDAQ市場）にFX専業業者として初の上場を実現
- 会社設立から2年での上場はヘラクレス市場最短記録（当時）
- さらに2012年5月東証二部へ上場、2013年5月東証一部へ指定変更

FX業界最大手の一角

- 顧客口座数約25万口座、預り証拠金約481億円（2014年12月末現在）
- 上場FX業者としては国内トップ、未上場を含めたFX業者の中でもトップクラス



会社ロゴ



社是

DON'T STOP!

とめない、とまらない。

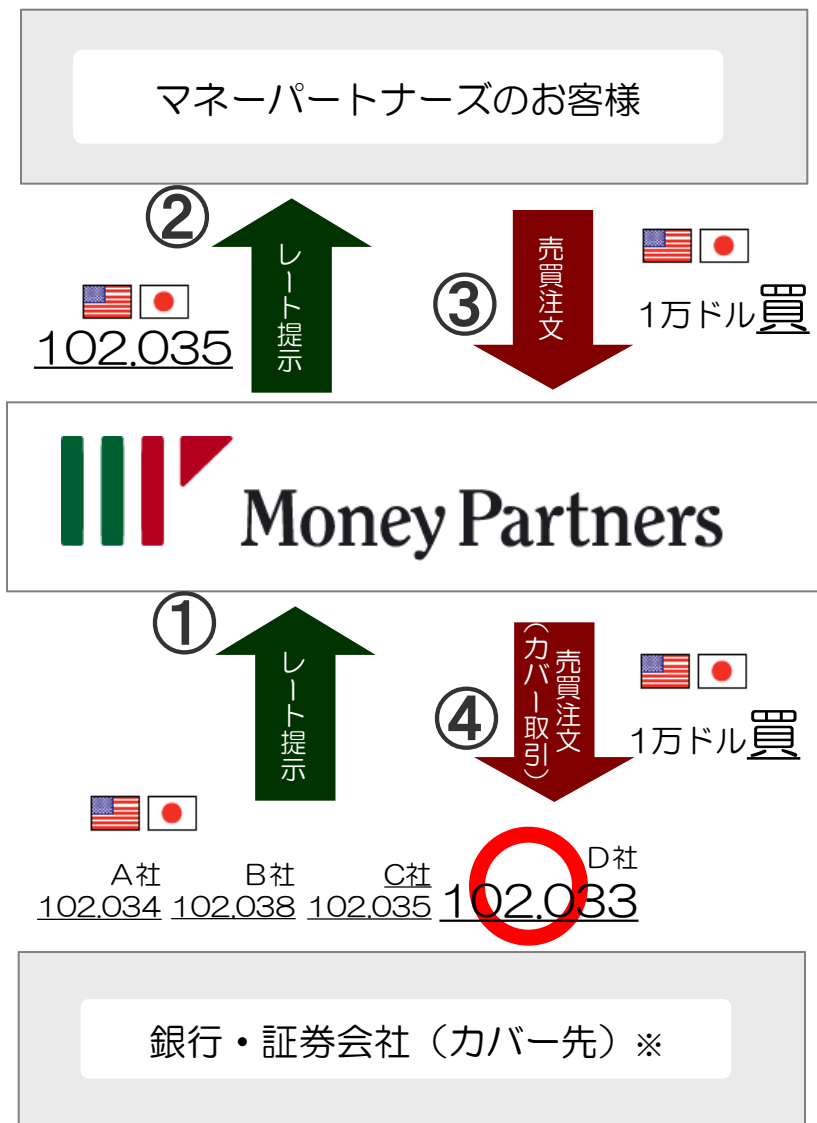
Ⅲ. 当社グループの収益構造、特徴と強み





当社グループの収益構造

Money Partners Group



- ① 複数の銀行・証券会社（カバー先）よりレート提示を受ける
- ② お客様へレートを提示する
- ③ お客様からの売買注文を受ける
- ④ お客様からの売買注文を、銀行・証券会社（カバー先）へカバーする

お客様との取引レートとカバー先との取引レートの差額が収益

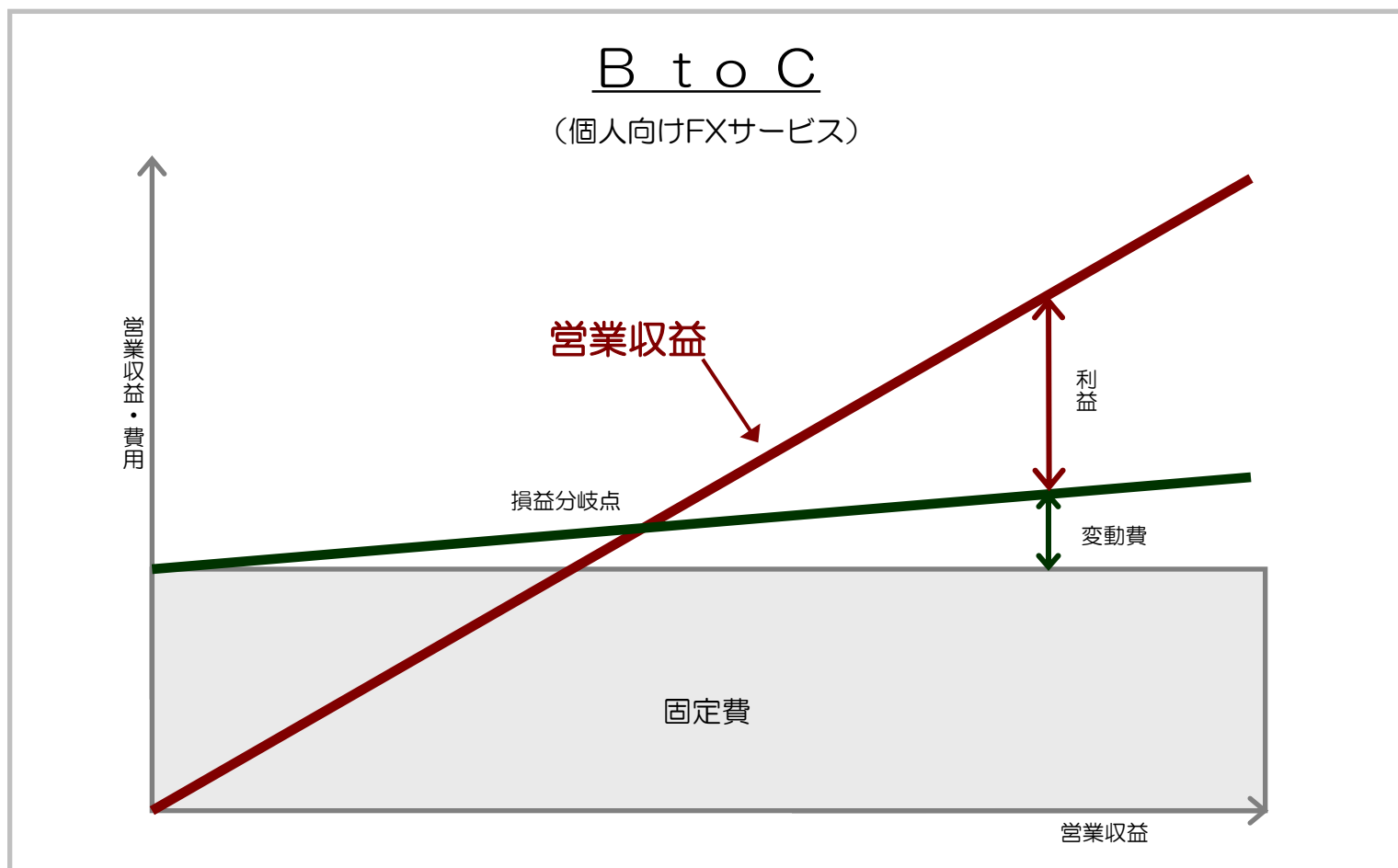
$$102.035 - 102.033 = 0.002円$$

$$1万米ドル \times 0.002円 = \mathbf{20円}$$

※ドイツ銀行、シティバンク、大和証券、UBS銀行等、計16社



当社グループの基本的な利益構造



※上記のほかに大証及び金融機関向けFXサービス等からの収益（B to B）もあります。

変動費の割合が小さく、損益分岐点を超えた後は営業収益に比例し利益も大きくなる。



差別化商品・サービス

Money Partners Group

マネパカードはマルチカレンシーの海外専用プリペイドカード

海外旅行先のATMで
現地通貨のお引き出し



マスターカードの使えるお店で
ショッピング&グルメ



9月3日
サービス開始!

1枚で5通貨

1枚のカードで米ドル、ユーロ、英ポンド、豪ドル、香港ドルの5通貨をチャージOK!

クレジットカード手数料の 実質半額!

今なら手数料相当分キャッシュバック!
最大4ヶ月、実質手数料無料になります!

16歳から 使える

日本にお住いの16歳以上の方であれば
原則どなたでもお持ちいただけます。

外貨両替「日本最安」 マネパだから

外国為替の専門家、マネーパートナーズ
だから実現できるサービスです!

安心サポート 24時間365日

盗難や紛失はサポートデスクにご連絡
いただければ、その時点の残高を保障!

年会費無料

カードショッピング保険も付帯して、
年会費は永年無料!費用はかかりません!



差別化商品・サービス

日本 最安



お得で便利! マネパの
外貨両替・受取サービス

利用者急増中!

成田・羽田・関空・セントレア

空港で外貨を受取れます!

なんと
最大 **98%OFF**
両替手数料

主要通貨の受取可能! 圧倒的な低コストを実現!

(外貨受取サービス
対応通貨)



米ドル **93%OFF**



ユーロ **95%OFF**



英ポンド **98%OFF**



スイス
フラン **95%OFF**



韓国
ウォン **30%OFF**



外貨紙幣の取扱いを 始めてみませんか?



2020年の東京オリンピック開催に向けて、今後、外国人観光客のさらなる増加が見込まれています。

外貨紙幣での支払いを受け入れることで、「国際観光都市浅草」をアピールし、外国人観光客が親近感、安心感を持って立ち寄れる雰囲気を作ることができます!

**We accept
USD & EUR here!**
(bills only)

外貨紙幣使えます!

マネパートナーズ

メディアへの露出! テレビ東京「ワールドビジネスサテライト」にて放映。
浅草商店連合会と提携し、小売業やサービス業等のリアル店舗への支援活動を推進。
新たなブランディングチャネルを開拓。



差別化商品・サービス

Money Partners Group

◆ 証拠金100円から！『パートナーズFXnano』

商品性を改良しビギナー層向け施策に注力した新しい「nano」
米ドル円スプレッド0.3銭など業界最安水準を実現



マネーパートナーズは少額FX取引の元祖！！



◆ 『証券取引、代用有価証券サービス』

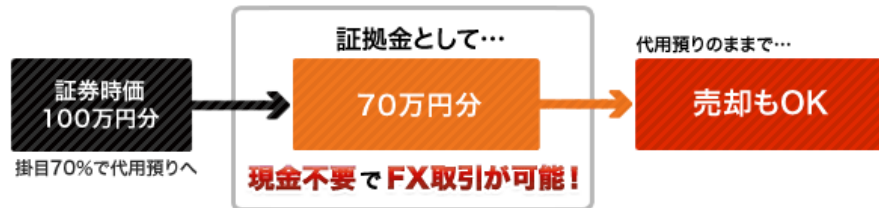
売却手数料が完全無料でお取引いただけます。
保有株式を代用掛目70%で評価し、現金不要でパートナーズFXがお取引いただけます。

ここがスゴイ！ マネパの証券取引

預けた株が証拠金！ **現金不要でFX取引可能!** 掛目 **70%**

手数料がダンゼンお得！ **売却手数料が完全無料** 約定代金に関わらず **0円**

代用有価証券を使ったFX取引のイメージ





差別化商品・サービス

Money Partners Group

◆ 100%成立する安心レート



FXサービスパフォーマンステスト 矢野経済研究所調べ
パートナーズFXは5年連続「約定力No.1」



スリッページ無し！※1

PCからのストリーミング注文は、提示レートで100%売買が成立、スリッページ設定自体がありません。

リジェクト無し！※2

リジェクトは発生しない仕様のため、提示レートで100%売買が成立します。

スリッページ有り！

スリッページ設定をしない場合、提示レートでは成立せずに何度も注文のやり直しを求められるリスクがあります。

リジェクト有り！

相場急変時にはリジェクトのリスクがあり、リジェクトされた場合は再注文が求められます。

(※1) 注文した価格からすべて（スリッページして）異なる価格で成立すること、またはそのズレのこと。
(※2) 注文を出した値段で約定ができず注文がキャンセル（拒否）されてしまうこと。



Money Partners

◆ 金銀の取引サービス

取引ルールはFXとほぼ同じ！
簡単取引で収益チャンス大！

ボラティリティが魅力の金・銀取引

証拠金 1,050円から！

金銀取引のススメ

◆ 『トレードレポート』

トレードの通信簿で、あなたの投資が進化する！

取引スタイル ... トレンドタイプ

約定結果

約定日数	初期仕度金	約定総量
149件	3,189,259円	8,780万通貨

- 収益得点 【9点】

収益率	17%	損失
0.408	6,176,400円	-4,842,600円
- 開始株主利益得点 終了株主利益得点 株主利益得点

0円	369,600円	1,703,400円
----	----------	------------
- 標準得点 【5点】

勝率	勝ち約定件数	負け約定件数
45%	67件	78件
- 効率得点 【8点】

収益が平均以上の割合	勝率約定総量	負け約定総量
148:1	4,020万通貨	4,880万通貨
- 空室時間得点 【7点】

平均空室時間	空室時間(勝ち)	空室時間(負け)
3時間43分40秒	48時間32分47秒	3時間49分58秒
- 約定入場得点 【10点】

約定総量/通貨	最大約定総量	標準偏差
0.00	60万通貨	0.00

アドバイス

利銀に比べて勝率が高く、リスクは取る程度で設定されています。また1回分の注文数量も比較的低く、かつ、リスクが低く、やり直しでもありません。現在のトレードスタイルに合わせた、適切な金額で取引を始めることをおすすめします。引き続き安定した収益を目指していきましょう。

掲載されているトレードレポートの内容は、ある一定期間においてお客様の行われた実際の取引結果に基づいて作成したものです。取引スタイルやFXの市場環境は日々変化し、お客様の投資スタイルや市場環境も日々変化し、過去の取引結果をそのままに参考にするものではありません。掲載の先取りできる最終利益は、お客様自身で行っていただく。

勝つためのトレードスタイルやトレード手法を勉強できます！

多角的な観点から分析！
客観的な数値データを提供
第三者視点でのアドバイス掲載

IV. 業績の推移





2015年3月期第3四半期（2014/10～12） 連結決算の総括とポイント

- ① □座数はマネパカードの効果等もあり堅調に推移し、約5千口座増と順調に拡大。預り証拠金も口座数の拡大に伴い 前四半期比3.7%増の47,359百万円に。

総口座数	251,189口座	2015/3期2Q末比 2.2%増
預り証拠金	47,359百万円	2015/3期2Q末比 3.7%増

- ② 第3四半期（2014/10-12）の外国為替取引高は、8月までの低迷相場から一転、米ドル急騰により相場が大きく変動し、米ドル/円をはじめ大きく増加した。

10-12月取引高	5,004億通貨単位	2014/7-9月比 113.0%増
-----------	------------	--------------------

※取引高には2011年8月より開始したCFDに関する数値を含めております。

- ③ 営業収益は、外国為替取引高増加に伴い1,618百万円（前四半期比38.6%増）、経常利益は四半期ベースでは2011年3月期第1四半期以来の最高益となる513百万円（前四半期比181.5%増）となった。
- ④ 四半期純利益は前四半期比177.7%増の325百万円となった。



四半期業績推移

Money Partners Group

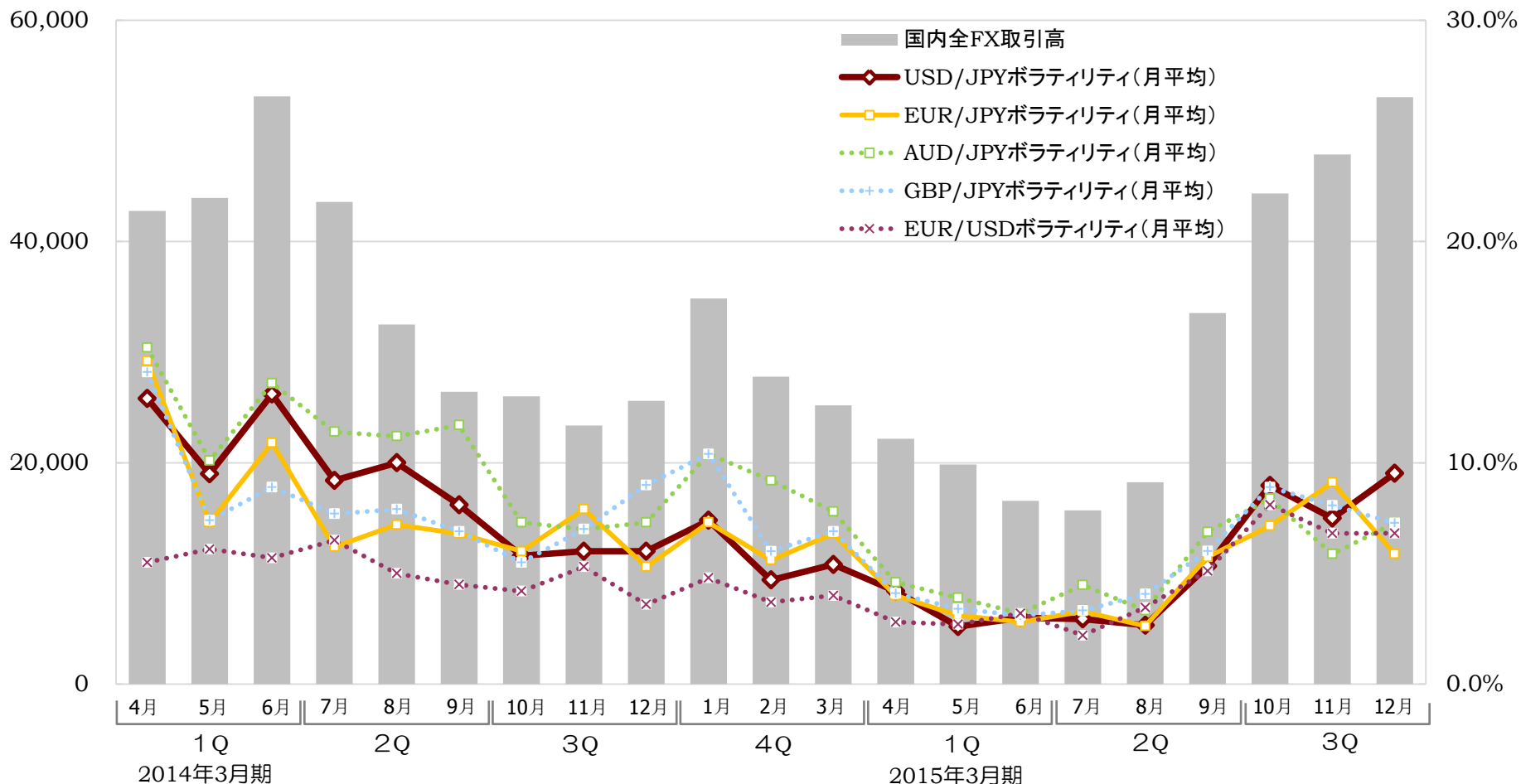
■ 四半期毎のP/L主要数値推移

単位：百万円

	2013/3期	2014/3期				2015/3期			前四半期 対比増減
	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	
営業収益	1,504	1,569	1,179	1,142	1,365	969	1,167	1,618	38.6%
受入手数料	17	3	2	2	2	2	2	4	49.7%
トレーディング損益	1,473	1,563	1,171	1,136	1,359	963	1,155	1,601	38.6%
金融収益	3	2	3	3	3	2	3	3	△1.4%
その他の売上高	9	0	2	0	0	0	6	9	49.5%
金融費用	21	16	16	16	17	18	18	18	△0.2%
売上原価	5	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
純営業収益	1,476	1,552	1,163	1,125	1,347	950	1,149	1,599	39.2%
販売費・一般管理費	1,260	1,112	973	964	1,039	912	981	1,086	10.8%
営業利益	216	440	189	161	307	38	167	512	205.5%
経常利益	224	427	197	162	328	41	182	513	181.5%
税金等調整前四半期純利益	202	412	194	157	327	41	178	505	183.1%
四半期純利益	124	247	119	96	200	21	117	325	177.7%
営業収益経常利益率	14.9%	27.2%	16.7%	14.3%	24.1%	4.3%	15.6%	31.8%	

営業収益は、外国為替取引高が増加したことで前四半期比38.6%増加。販売費・一般管理費は前四半期比10.8%増加したものの、経常利益は前四半期比181.5%増と大幅に増加し、期初来累計の損益は前年同期並みの水準にまで回復。

取引高・主要通貨ペア日次平均ボラティリティの推移

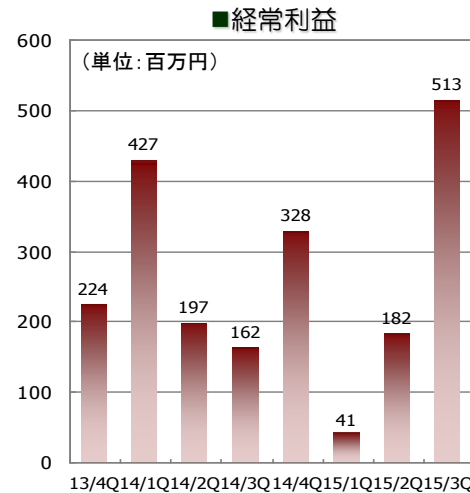
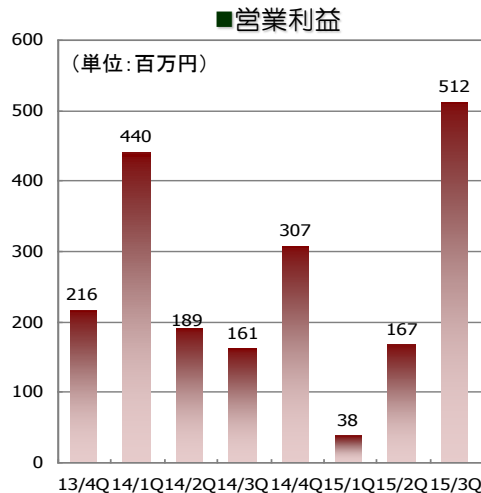
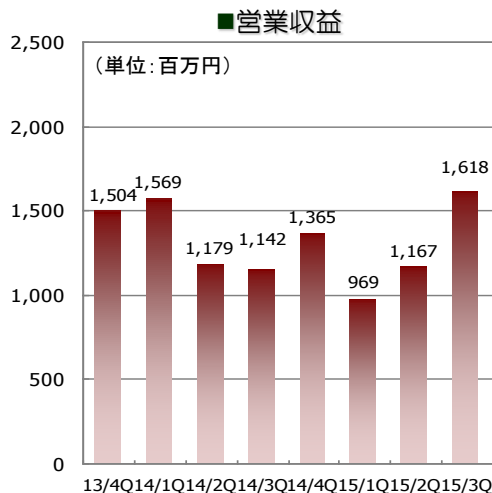


2014年5月以来の歴史的とも言える超低ボラティリティ相場は概ね8月まで継続し、その後米国早期利上げに対する思惑や日銀金融緩和の拡大から米ドルが急騰、足元ではボラティリティは回復。国内全FX取引高は、ボラティリティに連動する形で8月まで低迷の後、10月以降急激に増加。

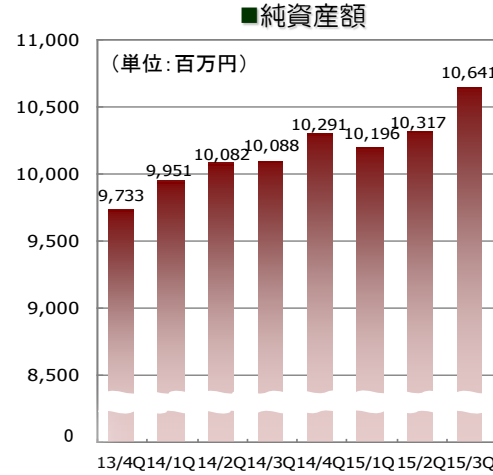
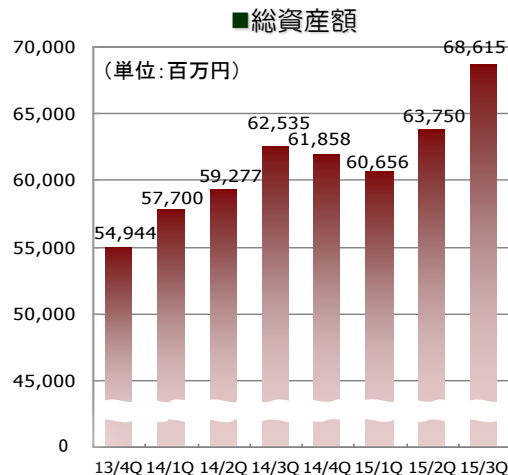
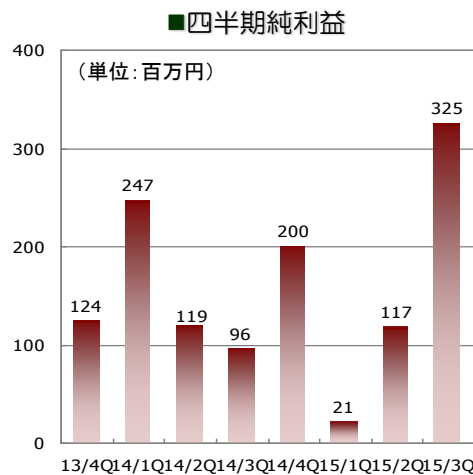


業績・財務推移

Money Partners Group



2015/3期1Qから2Qにかけての外国為替相場低迷から一転、2010/3期第1四半期以来の最高益を計上。



2013年3月期に実施した大型システム投資の効果がその後の運用改善の取組みにより継続的に発現し、取引高当たり収益性の改善やシステムコスト低減の形で当社グループ利益基盤強化に寄与。



月次業績指標推移

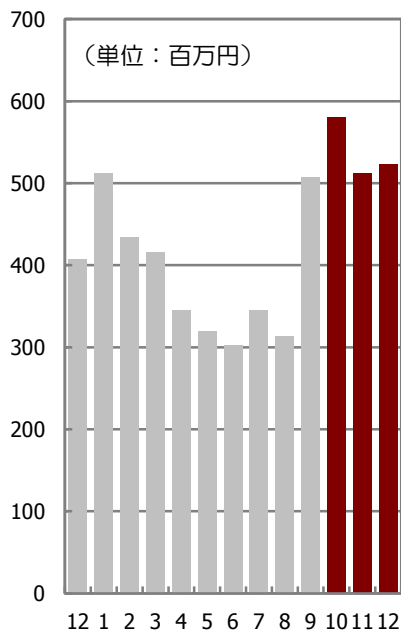
Money Partners Group

■ 月次営業収益、外国為替取引高、顧客口座数、顧客預り証拠金の推移

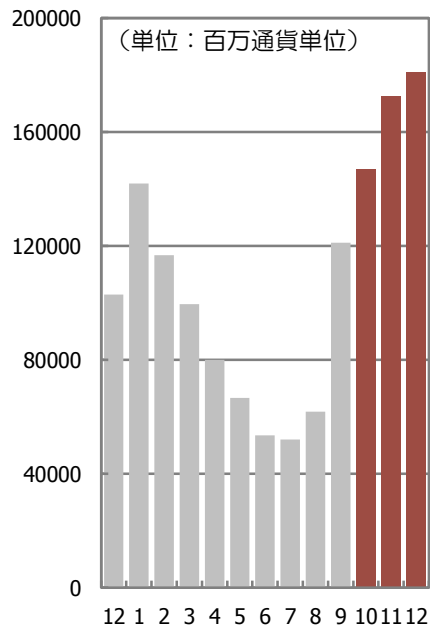
	2013年	2014年											
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
営業収益(百万円)	408	513	435	416	345	320	303	346	313	507	581	512	523
外国為替取引高 (百万通貨単位)	102,966	141,934	116,780	99,614	80,006	66,673	53,476	52,025	61,788	121,116	146,935	172,500	180,985
顧客口座数(口座)	230,717	232,518	234,192	235,807	237,340	238,815	240,435	242,160	243,854	245,880	247,587	249,193	251,189
顧客預り証拠金(百万円)	43,797	44,144	44,250	44,348	44,177	44,098	44,561	45,128	45,214	45,649	46,290	46,008	47,359

※営業収益、取引高は、ホワイトラベル提供及び大証F×マーケットメイク業務に伴い発生した収益・取引を含んでおります。顧客預り証拠金は、ホワイトラベル提供に伴う預り証拠金を含んでおります。それぞれの計数には2011年8月より開始したCFDに関する数値を含めております。

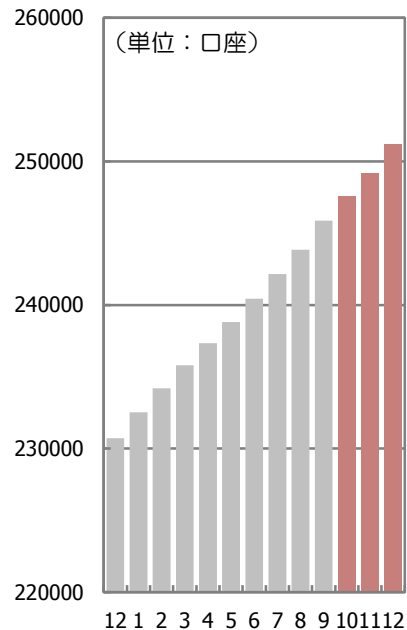
■ 営業収益



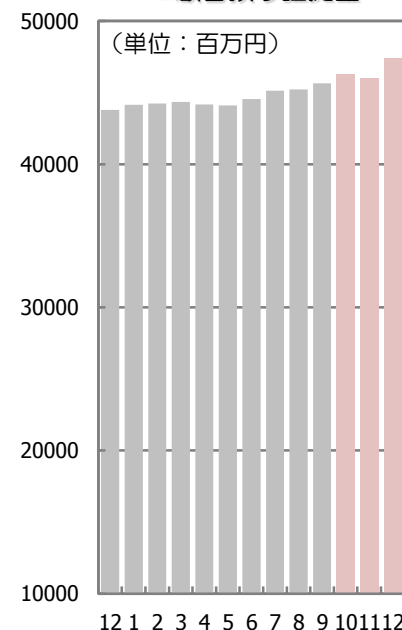
■ 外国為替取引高



■ 顧客口座数



■ 顧客預り証拠金



V. 経営戦略





2015年3月期の重点施策

重点課題

収益力強化

顧客基盤拡大
取引機会創出

重点施策

- 実需層の取り込みによる顧客基盤の拡大と収益化
- 顧客基盤の多様化と収益率の更なる向上

収益

- ★ 収益性継続の改善

顧客サービス

- ★ 顧客向けサービスの改善
- ★ 新注文・新サービス・新機能の提供

実需

- ★ ブランディング及び実需顧客等の取り込み
- ★ カード及び外貨両替サービス利用者層の取り込み



中長期的な経営戦略 ～独自ポジションの構築

FX取引
CFD取引
店頭取引

実需
外貨受取・引受け
カード



資産運用
証券取引
代用有価証券

FXを軸とした外国為替・資産運用の専門店を目指す！

VI. 当社の経営目標及び株主還元について





ROE及び営業収益経常利益率の向上

- 当社は、企業価値の最大化のため自己資本を効率的に活用することを重視しております。
- このために効率的な収益構造の実現を目指して参ります。
- 効率性を計る尺度として、自己資本利益率（ROE）及び営業収益経常利益率を重要な経営指標として位置づけております。

▶ **2015年3月期第3四半期（2014年10～12月）のROEは12.4%**

※：四半期ROEにつきましては、下記計算式により年換算して算出しております。
ROE（年換算）＝（四半期純利益×4）÷（（四半期期首自己資本＋四半期期末自己資本）÷2）×100

▶ **2015年3月期第3四半期（2014年10～12月）の営業収益経常利益率は31.8%**



株主還元について

Money Partners Group

業績向上に取り組み、株主利益の向上に努める

配当方針

配当性向・・・連結当期純利益の**30%**を目処

配当機会・・・**中間及び期末**（年2回）

	2014年3月期				2015年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
当期純利益 累計期間(百万円)	247	366	463	663	21	139	465	
配当金の総額 (百万円)	90		120		45			
期末発行済 株式総数(株)	322,110 (内、自己株式20,023)		32,223,000 ※1、2 (内、自己株式2,002,300)		32,241,000 (内、自己株式2,002,300)			
1株当たり 中間・期末 配当金	300円		4円		1.5円		未定	
年間	7円 ※3				未定			

※1 2013年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。

※2 2014年3月期末の発行済株式数であります。

※3 2014年3月期の期首に株式分割が行われたものと仮定して、1株当たりの配当金額を算出してあります。

参考資料



販管費推移
収益構造
FX取引の仕組み
グループ概要



四半期販管費推移

Money Partners Group

■ 販管費内訳及び主要費目の推移

単位：百万円

	2013/3期	2014/3期				2015/3期			前四半期 対比増減
	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	
取引関係費	400	259	224	240	293	214	249	311	24.6%
人件費	244	257	234	231	242	225	233	246	5.6%
不動産関係費	216	154	153	146	154	154	161	156	△3.2%
事務費	233	283	226	224	226	189	213	249	16.9%
減価償却費	143	122	111	99	98	94	94	95	1.5%
租税公課	12	15	13	13	15	15	18	17	△1.3%
貸倒引当金繰入れ	—	—	—	—	0	—	—	—	—
その他	9	19	10	8	8	17	10	10	△6.8%
販売費・一般管理費合計	1,260	1,112	973	964	1,039	912	981	1,086	10.8%

(主要な費目)

広告宣伝費(※1)	72	79	83	112	158	91	113	132	16.9%
システム関連費用(※2)	362	349	285	268	290	247	285	332	16.5%

※1 取引関係費の一部となります。

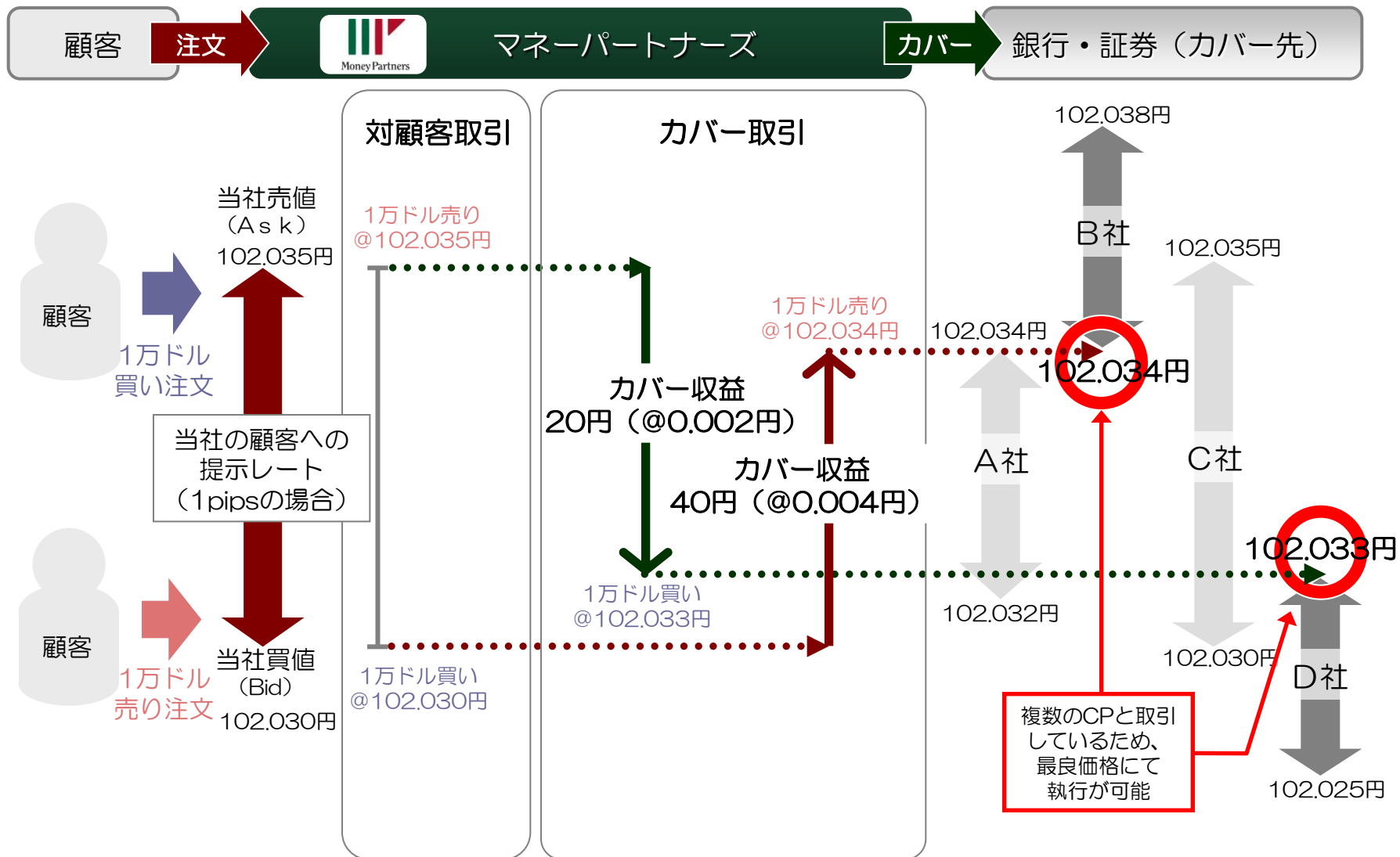
※2 取引関係費、不動産関係費、事務費の一部となります。

外国為替取引高の増加に伴い、変動費である取引関係費が前四半期比24.6%増加。事務費の増加（前四半期比16.9%増）は、ほぼシステム関連費用の増加であり、変動費部分の増加とマネパカードのサービス開始に伴う固定費の増加が主な要因。



当社グループの収益構造（ご参考）

Money Partners Group





外国為替証拠金取引（FX取引）の仕組み

1ドル=100円の場合

ドル高・円安と予想

ドル安・円高と予想

ドル/円を1万通貨単位『買い』

ドル/円を1万通貨単位『売り』

(為替レート)

(為替レート)

ドル高・円安
の進行

1ドル=101円
(値上がり)

ドル安・円高
の進行

1ドル=99円
(値下がり)

売り=1万米ドル
(円換算101万円)

買い=1万米ドル
(円換算99万円)

どちらからでも
取引開始が可能

101万円 - 100万円 =
1万円の利益

100万円 - 99万円 =
1万円の利益



グループ概要（平成26年12月31日現在）

■商号	株式会社マネーパートナーズグループ
■本社	〒106-6016 東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー16F
■代表者	代表取締役社長 奥山 泰全
■設立日	2005年6月10日
■資本金	18億1,757万円
■純資産	106億円
■発行済株式総数	32,441,400株



■当社グループの事業内容

株式会社マネーパートナーズ（100%子会社）

加入協会：日本証券業協会 社団法人金融先物取引業協会 日本商品先物取引協会

登録番号：関東財務局長（金商）第2028号

事業内容：

- (1) 金融商品取引法に規定する第一種金融商品取引業
- (2) 外貨両替業務
- (3) 資金移動業
- (4) 商品先物取引業

株式会社マネーパートナーズソリューションズ（100%子会社）

事業内容：

- (1) 外国為替証拠金取引をはじめとする金融商品取引に関するコンピュータシステムの設計、開発、販売、賃貸および保守
- (2) 外国為替証拠金取引をはじめとする金融商品取引に関するマーケティング
- (3) 前各号に関連する企画、調査、研究、コンサルティング及びこれに付帯関連する一切の業務



本資料は、株式会社マネーパートナーズグループの事業及び業界動向についての株式会社マネーパートナーズグループによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確実性がつきまとっています。
既に知られたもしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。
株式会社マネーパートナーズグループは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。
本資料における将来の展望に関する表明は、2015年2月6日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社マネーパートナーズグループにより2015年2月6日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

取扱い商品に係るリスクおよび手数料等について

パートナーズFX、パートナーズFXnanoおよびCFD-Metalsは、取引時の価格またはスワップポイントの変動、およびスワップポイントは支払いとなる場合があることにより、売付時の清算金額が買付時の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じるおそれがあります。また、証拠金の額以上の投資が可能のため、その損失の額が証拠金の額を上回るおそれがあります。売付価格と買付価格とには差額(スプレッド)があります。

取引手数料は無料です。ただしパートナーズFXについては、受渡取引に限り、1通貨単位あたり最大0.40円の手数料をいただきます。

パートナーズFXおよびパートナーズFXnanoの取引に必要な証拠金は、取引の額の4%以上の額で、証拠金の約25倍までの取引が可能です。法人コースの場合は、取引の額の0.5%以上の額で、証拠金の約200倍までの取引が可能です。

CFD-Metalsの取引に必要な証拠金は、取引の額の5%以上の額で、証拠金の約20倍までの取引が可能です。国内上場有価証券の売買等に当たっては、最大で約定代金の2.7%の手数料(消費税込み)、最低手数料は取引形態等により異なり最大で2,700円(消費税込み)をいただきます。国内上場有価証券等は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の価格の変動等および有価証券の発行者等の信用状況(財務・経営状況を含む)の悪化等それらに関する外部評価の変化等を直接の原因として損失が生ずるおそれ(元本欠損リスク)があります。

取引開始にあたっては契約締結前書面を熟読、ご理解いただいた上で、ご自身の判断にてお願い致します。

〈商号〉株式会社マネーパートナーズ(金融商品取引業者・商品先物取引業者)

〈金融商品取引業の登録番号〉関東財務局長(金商)第2028号

〈加入協会〉日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会 日本商品先物取引協会